

第1章 市の将来像

蓮田市の目指す将来像を、

○○○○

とします。

〈市民会議の意見〉

- ・都心から約40キロ圏内という立地条件や上野東京ライン、スマートインターチェンジといった鉄道や高速道路の交通利便性を生かしたまち。(第3分科会)
- ・新蓮田サービスエリアや根金・高虫地区における産業団地の整備等により商工業の発展と雇用の促進を図り、進学や就職で本市を離れた若い世代が再びふるさとに戻り、定住できるまち。(第1・第3分科会)
- ・都市近郊にありながら、元荒川や黒浜沼をはじめ、雅楽谷の森や屋敷林など水と緑が豊かな自然と住宅地が共存する蓮田市の特色を生かし、人々の憩いの場となるような自然環境の更なる維持及び展開を目指したまち。(第2・第3分科会)
- ・特産品である梨などの市の資源を生かした、「蓮田ブランド」をPRしていくとともに、あらゆる機会や手法を講じて地場産業を振興するまち。(第1・第3分科会)
- ・元荒川、見沼代用水の春の桜、秋の彼岸花等、四季折々の自然を観光化し、季節ごとの「花」のイベント等魅力あるイベントを市民と協働で開催するなど、年間をとおして市内外から人を呼び込み、交流人口の増加を促進するまち。(第1分科会)
- ・商工会、観光協会、学校等各種団体と連携し、お祭り、イベント等を通じてまちの活性化を図るとともに、若い世代の参加を促し、地域コミュニティや市民活動につなげる、にぎわいのあるまち。(第1・第2・第3分科会)
- ・防災活動をはじめ、地域で互いに支えあう心を大切にするとともに、高齢になっても気軽に外出できる環境をつくるため、バスなどの公共交通の充実した安心・安全のまち。(第1・第2・第3分科会)
- ・高齢者や障がい者が住み馴れた地域で尊厳を保ち、いきいきと自立した生活が送れるまち。(第2分科会)
- ・妊娠から出産、子育てまで一貫した支援を行い、多様なライフスタイルに応じて安心して子育てができ、女性が活躍できるまち。(第1・第2・第3分科会)

- ・子どもから高齢者まで、多世代の人たちの交流を深め、互いに笑顔であいさつを交わす地域のつながり・交流を大切にした温かなまち。(第2・第3分科会)
- ・国際交流を推進し、情報化社会に対応した質の高い教育を進めるまち。(第2分科会)
- ・国指定史跡黒浜貝塚や閨戸の式三番など有形無形の文化遺産を大切に守るとともに、市の資源として生かし「蓮田らしさ」として市内外にPRしていくとともに、市民の手による文化活動やスポーツ活動を活発にすることにより、生涯にわたり自主的に学習やスポーツができるまち。(第2分科会)